

# えんみち ぎろっちょ縁道プロジェクト

【団体名】ぎろっちょ縁道プロジェクト実行委員会

## 地域の現状・課題（取組みの背景）

- 氷川町宮原地区は九州の大動脈である国道3号において、県南地域の北の玄関口となっています。地区内の国道3号とその周辺は夏場を中心に雑草が生い茂り、ごみのポイ捨ても散見され、地元の景観に影響を及ぼしているという課題がありました。
- 一方、長引く新型コロナウイルスの影響により、同地区でも伝統的な祭りやイベントも中止に追い込まれるなど、まちの賑わいが失われていました。
- そこで、自分が暮らすまちの課題を発見し、自ら解決しようという志を持った地元の中高生が中心となり、国道3号に面する商店の方々と実行委員会を組織し、「ぎろっちょ縁道プロジェクト」に取り組みました。

## 取組みの概要

- ◆国道3号の歩道の清掃活動
    - ・沿道の商店等の方々に定期的な清掃を呼びかけ
    - ・清掃活動（年4回程度）の実施
  - ◆「ぎろっちょ石像」の設置
    - ・地元のシンボルとなり得る「ぎろっちょ石像」を制作し、プロジェクトの協力店や地元の名所に設置。
    - ・石像を巡ってもらうために、「ぎろっちょめぐりマップ」を制作し、役場等に設置。
- ※ぎろっちょ：ハゼ科ヨシノボリの地元での呼称



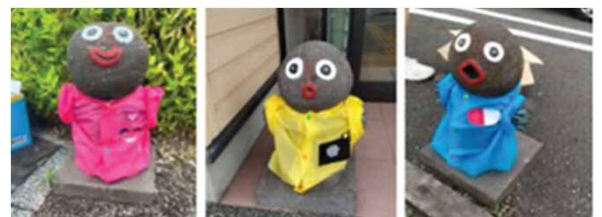
▲清掃の様子

## 取組みの成果・現在の取組み状況

- R4年度は清掃活動を4回実施し、のべ数十名の参加がありました。また、プロジェクトを広く地元住民に周知するため、SNSや地元広報紙を活用した情報発信を実施しました。
- R5年度もプロジェクトの継続と今後の発展のため、以下の取組みを予定しています。
  - ・清掃活動の実施（年4回程度）
  - ・活動を地域に広げるために、沿線の店舗への協力の呼びかけ
  - ・店舗ごとに飾付けを行い、その出来を競うコンテストの実施の検討
  - ・情報発信活動
- 今後も、プロジェクトを通じて、住民間の交流の機会を増やして、地元の賑わいを取り戻す取組みを実施していく予定です。



▲ぎろっちょの石像



3色の幼児用レインコートに、店のワンポイントのデザインを入れて飾り付け

▲飾り付けを行ったぎろっちょの石像